

阿波市立一条小学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- 学習規律の徹底と、ポジティブな行動支援を生かした授業の工夫・改善
- ホワイトボードやICT機器の効果的な活用による、主体的・対話的で深い学びの実践

学力向上検討委員会構成

| | | | |
|---------|----|--------------------|----------------|
| 学力向上推進員 | 委員 | 校長 植原 浩之 | 教頭 南郷 孝嘉 |
| | | 主幹教諭 佐藤 規孝 | 研修主任 佐藤 雅子 |
| 佐藤 雅子 | | 特別支援コーディネーター 宮根 千秋 | 市学力向上推進講師 林 慎二 |

校長 植原 浩之 印

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

各校の取組状況の把握について

管理職による授業参観や教員からの報告等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

(1)知識・技能の習得

| 児童生徒の状況(○よさ・●課題) | 具体的目標(目指す子供の姿) | 具体的方策(教員の取組) | 中間期の見直し | 達成状況(評価) | 次年度における改善事項 |
|---|---|---|---------|----------|-------------|
| ○漢字の読み書きや計算の基礎・基本については、単元終了直後には、ある程度の定着が見られる。 ●語彙力や表現力(書くこと)・読み取る力に課題が見られる児童が多い。 ●読書をたくさんしたとを感じる児童は、学校アンケートで7割に満たない | ・基礎的・基本的な知識・技能が確実に身につけている。 ・語彙力を高め、正確に文章を読んだり書いたりすることができる。 ・注意深く聞き、内容を理解することができる。 ・進んで様々な種類の図書を読もうとする。 | ・小テストの正答率を80%以上にする ・モジュールを有効活用し、「読む」力を育む時間を全校で確保する。 ・きめ細かいノート指導を行う。 ・No Game Dayを設定し読書の日に充てる。 ・詩・短歌・俳句の暗唱に取り組む。 ・放課後学習や補充学習を充実させる。 | | | |

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

| 児童生徒の状況(○よさ・●課題) | 具体的目標(目指す子供の姿) | 具体的方策(教員の取組) | 中間期の見直し | 達成状況(評価) | 次年度における改善事項 |
|--|--|--|---------|----------|-------------|
| ○ペア・グループ学習などで、自分の思いや考えを発表する児童が見られる。 ●自分の考えや思いを筋道を立てて説明したり、文章に書いたりすることには課題がある。 | ・自分の考えや意見を理由とともに発表することができる。 ・友達の発表をよく聞き、広げたり深めたりできる。 ・文章を書くことをいとわない。 | ・授業形態や方法をさらに工夫して、友だちの考えや発表を自分の言葉で言い換えられるようにしたり、自分の考えを自分の言葉で話したりすることができるようにする。 ・書く習慣をつけるため、日記や視写、新聞ノートなどに組みこませる。 | | | |

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

| 児童生徒の状況(○よさ・●課題) | 具体的目標(目指す子供の姿) | 具体的方策(教員の取組) | 中間期の見直し | 達成状況(評価) | 次年度における改善事項 |
|---|---|--|---------|----------|-------------|
| ○与えられた課題にまじめに取り組む児童が多い。 ●課題に対して自分で考え解決しようとする意欲が低い。 | ・課題を解決する方法を考えたり、必要な資料を選んだりすることができる。学ぶ楽しさや喜びを感じ取ることができる。 | ・日々の授業改善や授業力向上に取り組む。興味関心を学習意欲につなげる。 ・ICTを活用した「わかる授業」の推進とイメージ力の強化。 ・市立図書館との連携を深め、授業に必要な資料を準備し、学習意欲の向上を図る。 | | | |

令和3年度 学力向上ロードマップ

